

挑みつづける、変わらぬ意志で。

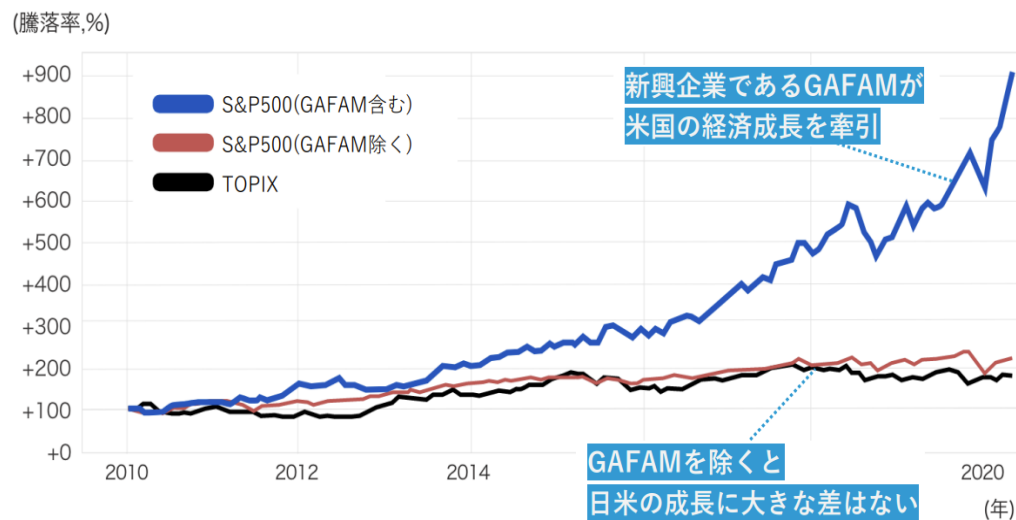


起業・創業の促進と スタートアップの成長促進に 向けた意見（概要）

2024年5月9日

①日本（TOPIX）と米国（S&P）における 直近10年間の株式市場のパフォーマンスの推移

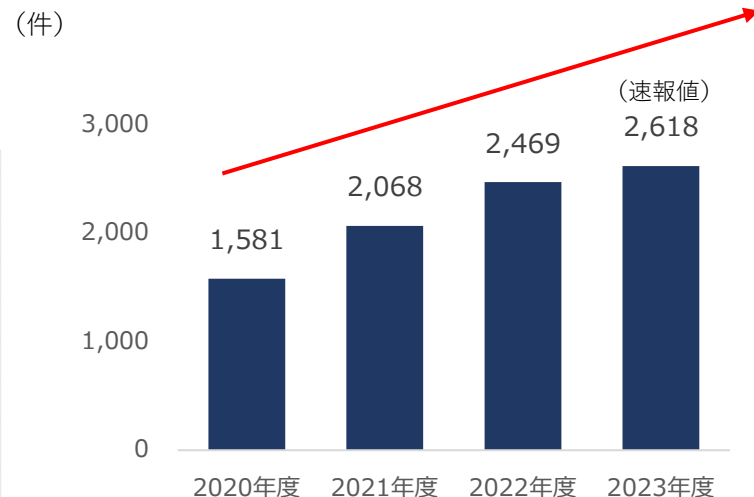
▶イノベーションを創出し、大きく成長するスタートアップは
経済成長のドライバーとなる存在



出所) 経済産業省「スタートアップ育成に向けた政府の取り組み」

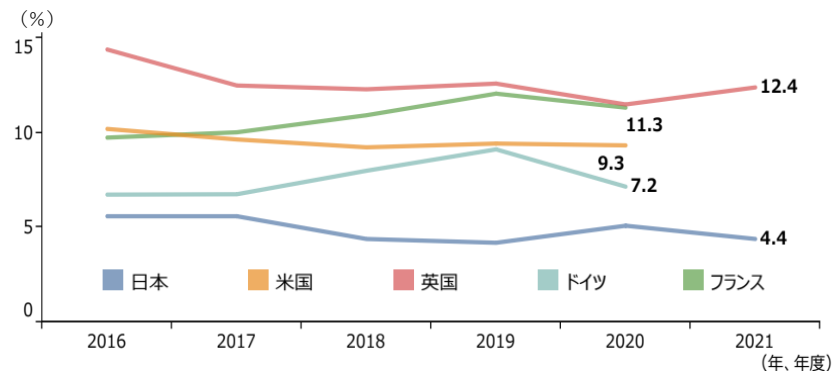
②東京商工会議所の“創業”相談実績

▶商工会議所の創業相談件数は年々増加



③開業率の推移（国際比較）

▶日本の開業率は、欧米諸国に比べ低水準にとどまる



出所) 2023年版中小企業白書

【現状認識・課題】

- スタートアップは、イノベーションによって経済成長や社会課題解決の担い手となる存在である。
- また、既存企業にとってもスタートアップとの協業は、イノベーション創出やさらなる事業成長を実現する有効な選択肢となる。
- このような背景から、国や東京都は具体的な戦略を策定し、起業・創業・スタートアップ支援を強力に推し進めている。東京商工会議所の創業相談件数も増加傾向にあるなど、気運は醸成されている。
- しかし、わが国の開業率は欧米主要国に比べ低水準で推移している。
- 国や東京都のスタートアップ戦略においては、“大企業とスタートアップ”の連携が中心となっており、連携に向けた取り組みも加速している。他方、わが国の企業の99.7%は中小企業が占めており、今後、“中堅・中小企業とスタートアップ”の連携を進めることが重要である。

- 東京商工会議所として、これまで数多くの創業支援、中小企業支援を通じ集約した企業の実態・声
- 中堅・中小企業、スタートアップ、大学・研究機関、支援機関、多様な専門人材が集積する東京の特徴

これらをふまえ“東京”の特徴を生かした意見書**「起業・創業の促進とスタートアップの成長促進に向けた意見」を取りまとめ**

起業・創業の促進とスタートアップの成長促進、またスタートアップとのオープンイノベーションを通じた中堅・中小企業と双方の成長促進により、東京の成長ひいてはわが国全体の成長を目指す

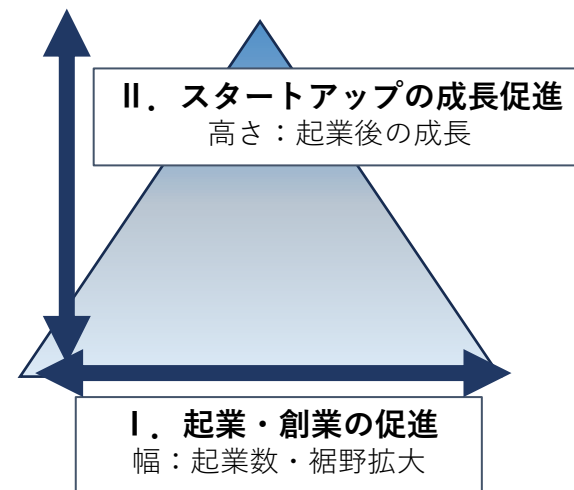
意見書の構成

I. 起業・創業の促進

起業数の増加に向けて

II. スタートアップの成長促進

1. 中堅・中小企業とのオープンイノベーション促進
(中堅・中小企業、スタートアップが集積する東京の特性を生かした成長支援)



2. スタートアップの成長促進に向けた環境整備・個社支援強化

<前提>本意見における“スタートアップ”の定義について (イノベーション・スタートアップ委員会活動方針から抜粋)

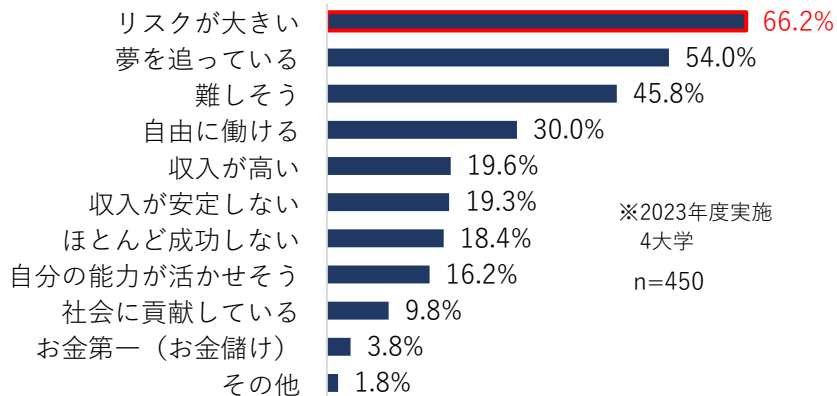
- **スタートアップ → 創業後概ね10年以内、且つ短期間での成長を目指す企業**

※「創業・スタートアップ実態調査」2022年7月にて、本定義を使用 ※東商が支援、議論する際に用いるスタートアップの定義

I. 起業・創業の促進(起業数の増加に向けて)

【起業家講演・受講生アンケート】

Q. 「起業」に対するこれまでの印象 (複数回答)



Q. 起業家講演を聞いて、「起業」に対する印象は変わったか

プラスに変わった	216
変わらない・わからない	224
マイナスに変わった	2

n=442

1. 起業・創業にいたるステージに応じた施策の検討と対策の実施

[認知・検討の段階] (裾野拡大)

- ・ 起業家との接点創出、アントレプレナーシップ醸成に向けた
起業家教育の促進 (若年層も含め、起業が多様な人生・職業選択の一つとして認識)
- ・ スタートアップや経営を知る機会としての、スタートアップでのインターン促進
- ・ 多様な起業の在り方に関する教育、意識醸成 (“起業=急拡大”に限らない、多様な起業・成長志向)

[職業選択・起業の段階] (起業の後押し)

- ・ 経営実務 (事業計画、マネタイズ等) に関する教育、先輩経営者によるサポート

2. 女性やシニア、外国人材の起業・活躍促進

- ・ 増加傾向にあるものの、割合としてはまだ低い女性による起業促進 (パートタイム起業など多様な起業の周知・支援/ロールモデルの発信や女性先輩起業家との相談マッチング等)
- ・ 外国人起業活動促進事業 (スタートアップビザ) の利用促進、利便性向上による起業促進

I. 起業・創業の促進(起業数の増加に向けて)

3. 大企業からのカーブアウト・スピナウトなどの加速

- 出向起業、兼業・副業の促進（出向起業補助金等、大企業人材の取り組みを後押しする施策の充実）
- 起業の裾野拡大に向けた、大企業からの独立、カーブアウトスタートアップ創出を後押しする「新事業発掘プロジェクト事業（GEMStartup TOKYO）」による支援強化
- 起業の選択肢拡大につながる兼業・副業の促進

4. 大学発のスタートアップ創出・成長の後押し ⇒ 大学が集積している東京の特徴

- ディープテックの牽引役として、大学等シーズのビジネス化支援強化
（シーズを活用した新規事業開発を目指す人材や民間企業との協業マッチング促進（ディープテック・スタートアップの起業・経営人材確保等支援事業の促進）／経営人材マッチングに向けたEIR活用等）

5. 再チャレンジによる起業に対する支援の強化

- 廃業後の再チャレンジに向けた経営支援の充実化（再チャレンジを後押しする「リスタート・アントレプレナー支援事業」（都）の強化等）
- 経営者保証に依存しない融資促進（経営者保証改革プログラムにおける「スタートアップ創出促進保証」の周知促進、保証徴求手続の厳格化、意識改革などの適切な運用促進、モニタリングの実施）

6. (円滑な再チャレンジ・事業転換に向けて) 目標達成に至らなかった事業やアイデア、人材の受け皿強化

- スタートアップにおけるM&A（事業譲渡含む）促進（M&A支援機関の周知、活用事例発信等）
- 受け皿となる中小企業・小規模事業者のM&Aの理解と取り組みの促進
（中小企業経営強化税制（設備投資減税）・経営資源集約化税制（中小企業事業再編投資損失準備金）の継続・拡充と周知・活用促進等）

II. スタートアップの成長促進

1. 中堅・中小企業とのオープンイノベーション促進

前提：なぜスタートアップ×中堅・中小企業なのか ～中堅・中小企業がスタートアップと連携する意義・メリット～

オープンイノベーションに取り組むスタートアップ、中堅・中小企業の経営者双方へのヒアリングをふまえて

■ スタートアップのメリット

- 中堅・中小企業の意味決定の速さにより、迅速に協業、事業を推進することができる
- 中堅・中小企業の“技術力”や“地域のネットワーク”を活用した多面的なサポートにより、スタートアップが不足する技術や人脈、情報などのリソースを補完できる

■ 中堅・中小企業のメリット

- スタートアップと中堅・中小企業の連携による双方の成長実現、イノベーション創出が期待できる
- 事業面のメリットだけでなく、人材育成・社内風土の改善といったソフト面のメリットも享受できる

(株)フジマック × TechMagic(株)

テックマジック社
2021年4月26日プレスリリース



- 業務用厨房機器総合メーカーのフジマックが業務自動化ロボットを開発するTechMagicと、食器自動仕分けロボットを共同開発
- フジマックの新規事業として、また食器片付けを担当する作業員の負担軽減とコストの削減に向け、開発を実施

(株)浜野製作所 × (株)ストリーモ

浜野製作所
2022年11月7日プレスリリース



- 電動マイクロモビリティを開発するストリーモは、浜野製作所が持つ金属加工技術や加工業者等とのつながりを活用した幅広い技術サポートを受け、量産に向けた開発を実施。
- すでに販売を開始。
※本田技研工業からスピンアウトしたスタートアップ

○ スタートアップと中堅・中小企業の連携における課題

- ・ スタートアップのバックグラウンドやフェーズによって必要とされる支援が異なり、画一的な支援では対応できない
- ・ オープンイノベーション促進に向けたマッチングの仕組みや、連携ノウハウの不足

Ⅱ. スタートアップの成長促進

1. 中堅・中小企業とのオープンイノベーション促進

1. スタートアップと中堅・中小企業との連携促進を盛り込んだ政策の検討

- スタートアップと中堅・中小企業との連携による効果（双方の成長、イノベーション創出促進）や、「おせっかい役」（地域の人材や企業とのネットワーク作りのサポート、技術面や経営面での先輩経営者としてのアドバイス等）としての中堅・中小企業の役割を踏まえた政策の検討

2. 中堅・中小企業の参画促進によるスタートアップエコシステムの活性化

- 「Tokyo Innovation Base」（TIB）をはじめとするエコシステム形成の取り組みにおける、中堅・中小企業の参画促進
- 様々な企業、人材が集積する東京のエコシステムの活性化と、各地域への波及、情報の横展開

3. スタートアップと中堅・中小企業のマッチングから成果創出に向けた支援

- スタートアップと中堅・中小企業の協業による事業化、成果創出に向けたハンズオン支援事業の強化／中長期にわたる支援制度の創設／「協定金スキーム」など民間の力を活用した支援の強化
- 連携相手の探索からマッチング、協業後の成果創出に至るまでの一連の支援を提供するオープンイノベーションプラットフォームを活用した支援強化、支援に対する補助制度の創設
- ハードウェアスタートアップの技術課題解決に向けた中堅・中小企業や公設試験研究機関との連携促進、費用助成

4. スタートアップとの連携マインドをもつ中堅・中小企業の裾野拡大

- 中堅・中小企業におけるスタートアップ連携に関する理解促進（イノベーション創出につながった好事例など、理解につながる情報発信の強化）
※ターゲットとして、まずはすでに事例も生まれている中堅企業の取り組みを促進し、好事例を展開しつつ中小企業での取り組みも拡大（出資など資金の供給サイドとしての連携促進も含む）

Ⅱ. スタートアップの成長促進

2. スタートアップの成長促進に向けた環境整備・個社支援強化

1. 国・東京都がまとめた成長戦略、ビジョンに対する進捗把握と着実な実行

(1) スタートアップのフェーズや類型に応じた支援体制の整備

- ・ スタートアップの類型（ディープテック、社会課題解決型等）やフェーズ、成長志向に応じた施策の展開
- ・ スタートアップの実績、信用蓄積につながる、実証実験事業などを通じた行政による支援強化（トライアル発注、公共調達強化、改正SBI R制度の周知促進・積極活用）

(2) 海外展開、グローバルでの活躍促進

- ・ 早期フェーズでの海外展開準備に向け、起業家育成・海外派遣プログラム「J-StarX」の推進
- ・ グローバルイベント等を通じた、国内スタートアップの海外への発信、マッチング強化
※海外展開による海外市場の獲得、ならびに人材獲得・人材へのアクセス強化

(3) スタートアップの成長につながる補助施策の運用改善

- ・ 各種補助施策における採択・事業開始までの迅速化

2. 網羅的に措置されている支援施策の周知強化ならびに効果検証、ニーズや実態に応じた改善

3. 支援機関の体制強化（起業・創業ならびに創業後の支援強化、伴走支援できる人材の養成強化、 公的支援機関と民間支援機関（地域金融機関など）との連携促進）

4. 社会・地域課題解決の牽引役としてのスタートアップの成長支援

5. 資金調達支援

- ・ 資金調達の選択肢拡大（未上場企業の株式発行・流通市場の整備、投資型CF拡充等）

6. 人材確保（経営人材の確保・養成、外国人材の活躍推進）

- ・ 女性・シニア・外国人材など多様な担い手の労働参加を阻む障壁の除去

東商の取り組み

起業・創業の促進

1. 起業家講演会

- アントレプレナーシップ醸成のため、起業家を大学に招き授業の1コマで講演。2015年から2023年末まで、累計31回開催
- 新** 大学に限らず、若年層（高校など）に向けた起業家講演会を開催

2. 創業相談、創業ゼミナール等の取り組み

- 「開業ガイドブック」の制作・配布のほか、「創業・起業セミナー」や「創業ゼミナール」を開催するなど創業準備を支援。創業の準備段階から創業後まで、ステージに応じたサポートを展開

スタートアップの成長促進／中堅・中小企業との連携促進

1. 「東商マッチングピッチ」、イノベーション交流イベント

- 中堅・中小企業のイノベーション創出や生産性向上に資するサービスを展開するスタートアップ企業が登壇するマッチング、交流イベントを定期的で開催
- 新** 支援機関、東京都以外の地域との連携など、広域での「中堅・中小企業×スタートアップ」を促進

2. スタートアップとの連携マインドをもつ中堅・中小企業の裾野拡大に向けた情報発信

- 事業の成長や課題解決を実現している中堅・中小企業とスタートアップの連携事例を発信

3. 「産学公連携相談窓口」（オープンイノベーション支援）

- スタートアップ、中堅・中小企業の技術課題、経営課題解決に向け、東商が連携する57の大学・研究機関とのマッチングを実施

4. オープンイノベーションプラットフォームと連携したオープンイノベーション支援

- オープンイノベーションプラットフォームと連携協定を締結し、連携事業の実施や、中堅・中小企業におけるプラットフォーム活用促進など、オープンイノベーションの様々な選択肢を提供

5. スタートアップ顕彰制度

- 新** 「勇気ある経営大賞」にスタートアップ部門を創設し、受賞企業の認知度向上や信用力を高めることなどによる成長を後押し

6. 補助金・助成金など、施策情報の発信

- スタートアップも活用可能な中小企業向け補助施策を取りまとめ、「施策一覧」として発行しているほか、補助施策の活用方法や申請ポイントを解説するセミナー開催等

挑みつづける、変わらぬ意志で。

